



日々、小さな感謝をもらえる仕事。

浜田萌実さん(1998年生まれ)
名古屋市立桜台高校 出身
愛知学院大学 健康科学部健康栄養学科卒業

生活協同組合コーポあいち
名古屋市名東区猪高町上社井堀25-1
<https://coopaichi.tcoop.or.jp/>

●必要資格 / 準中型自動車運転免許
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→普通自動車運転免許を取得→コーポあいちに入協

「漫画創作部の仲間と遊んだり、学校行事に参加したり、楽しい思い出が盛りだくさんの高校3年間でした。調理をすることが食べることも好きだったので、食品について学びたいと思い、愛知学院大学の健康栄養学科に進学しました」

大学時代について教えてください。

「調理実習では、日本の伝統的な料理からアジアや西洋の料理まで、様々な国の料理を作りました。調理技術だけでなく、食中毒について、スポーツと栄養の結びつきについてなど、幅広く食と栄養に関することを学びました。中でも食中毒について学んだことが印象に残っています。原因になるもの、発生しやすい環境や対策の仕方などを学びました。楽しかったのは、自分たちで献立を考え食券を販売し、実際に大学の人に給食を食べてもらう企画です。国家試験に合格し、管理栄養士を取得することができました」

――仕事について――

「大学で所属していた調理サークルで、コーポの『あいちの米たまご』を使つた料理を考えてP.Rする企画がありました。そのプロジェクトがとても楽しくて、私も企画する側の仕事がしてみたいと思い、コーポあいちに入協しました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「地域のみなさんの生活を支える仕事です。現在、私は宅配業務を担当しており、日々地域の組合員のみなさんへ商品をお届けしています」



「毎週決まった曜日にお届けして会話をしているからこそ、わかることがたくさんあります。組合員のニーズに合わせて、次回お値打ちになる商品の話や季節ごとのキャンペーンの案内、共済の案内などをおすすめしています。今後は、商品を企画するバイヤー、商品を使ったイベントの企画にもチャレンジしてみたいです」

「研修に参加すると、生産者の思いやこだわりを聞くことができます。そこで得た知識と学んできた食品の知識を合わせて、商品との違いや魅力を伝えるようにしています。それが提案の説得力にもつながっていると思います」

「働こうえで心がけていることを教えてください。」

「「ありがとうございます」といいます。私が玄関先に置いたりするなどの気づかいが大事です。高校時代は、1日1日を大切にして楽しい毎日を過ごしてほしいです。私は、今振り返ってみても、楽しかった思い出があります。小さなことが出来たら、商品を手渡しするのではなくを抱えているお母さんが出てきました。商品を手渡しするのではなくを抱えているお母さんが出てきます。お話をすることが好きな人、相手のことを考えて動ける人に向いている仕事だと思います。小さなことですが、赤ちゃんを抱いていたりするなどの気

18歳 部活や学校行事など、楽しい思い出が満載の高校生活。

↓

22歳 愛知学院大学に進学し、食と栄養について学ぶ。管理栄養士を取得。

↓

25歳 宅配業務を担当し、地域の組合員のみなさんの生活を支える。

「組合員の中には、コーポだけが生

活している人もいるので、雨の日や台風の日に配達をすると、「ありがとうございます」という声をいたたくことがあります。日々、小さな感謝をもらえる仕事ですね。それがやりがいにつながっています」

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！
<http://amb100search.com>

**――学生時代――****――メッセージ――**

「いろんな世代の組合員がいるのになってしまいます。お話をすることが好きな人、相手のことを考えて動ける人に向いている仕事だと思います。小さなことですが、赤ちゃんを抱いていたりするなどの気づかいが大事です。高校時代は、1日1日を大切にして楽しい毎日を過ごしてほしいです。私は、今振り返ってみても、楽しかった思い出があります。小さなことが出来たら、商品を手渡すのではなくを抱えているお母さんが出てきます。お話をすることが好きな人、相手のことを考えて動ける人に向いている仕事だと思います。小さなことですが、赤ちゃんを抱いていたりするなどの気

縁の下の力持ちとして、
社会復帰のお手伝いをする。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学し、公務員試験対策をおこなう→刑務官採用試験に合格→各刑事施設に配属

矢野聖馬 さん (1996年生まれ)

名古屋大谷高校 出身
大原法律公務員専門学校 名古屋校 卒業

名古屋刑務所

みよし市ひばりヶ丘1-1
<https://www.moj.go.jp/>

【学生時代】
「高校時代はバスケットボールに3年間打ち込んでいました。あいさつなどの礼儀から先輩や後輩との上下関係まで、厳しく指導していた部活を通して社会人として大切なことを学ぶことができたと思います。今の仕事をめざしたのは、刑務官になった先輩の話を聞いたことがきっかけです。被収容者を指導して更生に導く最後の砦でこの仕事に魅力を感じました」

【専門学校時代に学んだことは?】
「高校卒業後は、大原法律公務員専門学校名古屋校で、数的推理、一般教養など公務員試験の対策をおこないました。日々、過去問題や模擬試験を解いて傾向と対策を考えます。まわりは同じ目標をもった生徒仲間同士で教えあって試験勉強に集中できる環境でした。その結果、刑務官採用試験に合格することができました」

【仕事について】
「採用されてからの研修は、採用庁での研修と研修所に入所しての集合研修と、合わせて約6ヶ月あります。刑事収容施設法などの法律を勉強したり、拳銃の取扱訓練をしたりしました。あとは、身だしなみや立派振る舞いなど、国家公務員としての心構えを学びます。研修を終えたあとは、先輩の見習いにつきながら現場で仕事を覚えています。参考仕事内容を簡単に教えてください」

【名古屋刑務所に勤務し、罪を犯すことがあります】
「刑務官をめざすなら、日々しっかりと体を動かして運動することが大事です。あとは、誰かのために何かをしようという強い気持ち。自分ファーストではなく、「この人のために!」と思えるかが重要です。チームワークが大切な仕事でもあるので、高校時代に部活や行事ごとに取り組んで協調性を養っておいてください。一生の友達を作つてほしいです。私も高校時代の友達の存在が支えになつてきました」

【学生時代に学んだことは?】
「しまった被収容者の改善更生にいたことがきっかけです。被収容者を指導して更生に導く最後の砦でこの仕事に魅力を感じました」

【専門学校時代に学んだことは?】
「高校卒業後は、大原法律公務員専門学校名古屋校で、数的推理、一般教養など公務員試験の対策をおこないました。日々、過去問題や模擬試験を解いて傾向と対策を考えます。まわりは同じ目標をもった生徒仲間同士で教えあって試験勉強に集中できる環境でした。その結果、刑務官採用試験に合格することができました」

【仕事について】
「目標は出所していく人と二度と刑務所で会わないことです。出所を見送るときの『社会で頑張るから』という言葉がやりがいにつながっています。何千回と指導し、その中からひとつでも伝わってくれたらうれしいという思いです。現在は、被収容者の対応だけでなく、後輩を指導する立場に日々、毅然とした態度で仕事に向き合っています」

【やりがい】
「目標は出所していく人と二度と刑務所で会わないことです。出所を見送るときの『社会で頑張るから』という言葉がやりがいにつながっています。何千回と指導し、その中からひとつでも伝わってくれたらうれしいという思いです。現在は、被収容者の対応だけでなく、新人刑務官を指導する立場にもなりました。後輩の悩み相談を受けてアドバイスし、『ありがとうございます。参考になりました』という声をもらうと



18歳 部活に打ち込んだ高校時代。先輩の話を聞いて刑務官を志す。

20歳 刑務官採用試験に合格し、現在は名古屋刑務所に配属。

27歳 被収容者の対応だけでなく、後輩を指導する立場に。日々、毅然とした態度で仕事に向き合う。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



—学生時代

—メツセージ

「刑務官をめざすなら、日々しっかりと体を動かして運動することが大事です。あとは、誰かのために何かをしようという強い気持ち。自分ファーストではなく、「この人のために!」と思えるかが重要です。チームワークが大切な仕事でもあるので、高校時代に部活や行事ごとに取り組んで協調性を養っておいてください。一生の友達を作つてほしいです。私も高校時代の友達の存在が支えになつてきました」

「チームワークが大切な仕事でもあるので、高校時代に部活や行事ごとに取り組んで協調性を養っておいてください。一生の友達を作つてほしいです。私も高校時代の友達の存在が支えになつてきました」

「チームワークが大切な仕事でもあるので、高校時代に部活や行事ごとに取り組んで協調性を養っておいてください。一生の友達を作つてほしいです。私も高校時代の友達の存在が支えになつてきました」

お客様の生活の一部を支える。
取り扱う商品を通して、



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→心理学や地域支援について学ぶ→100円ショップを展開する企業に就職→エリア店長

寺部恵理子 さん(1994年生まれ)

各務原高校 出身
中部大学 人文学部卒業

株式会社セリア

大垣市外渕2-38
<https://www.seria-group.com/>

「ゼミの影響で地域支援に興味をもち、生活保護受給家庭の中学生を対象に勉強を教えたり、水族館や公園などで野外活動をおこなつたりしました。そこで、人と関わることの楽しさや誰かの支えになれることがよろこびを学ぶことができたと思います。地元企業であるセリアに就職して地域を活性化させたいと思つたのも、そのときの経験がきっかけです。店舗で働くスタッフを様々なかたちでサポートするこの仕事は、当時の活動で学んだ経験がいかせると思いました」

――仕事について――

「入社後の1年半はエリア店長のもので店長研修を受けます。セリアでのアルバイト経験があつたので業務内容はある程度わかつていたつもりでしたが、環境が違えば業務のやり方や優先順位が違うことを実感しました。入社当時は、固定概念を変えることや、様々な考え方の人がいることを深く理解するまでに時間がかかり苦労しました。結局、自分が率先してやっている姿を見せるしかないという気持ちで仕事を取り組みました。その姿を見せる

ことのよろこびを学ぶことができました」とおっしゃる寺部恵理子さん。地元企業であるセリアに就職して地域を活性化させたいと思つたのも、そのときの経験がきっかけです。店舗で働くスタッフを様々なかたちでサポートするこの仕事は、当時の活動で学んだ経験がいかせると思いました。

「ゼミの影響で地域支援に興味をもち、生活保護受給家庭の中学生を対象に勉強を教えたり、水族館や公園などで野外活動をおこなつたりしました。そこで、人と関わることの楽しさや誰かの支えになれることがよろこびを学ぶことができたと思います。地元企業であるセリアに就職して地域を活性化させたいと思つたのも、そのときの経験がきっかけです。店舗で働くスタッフを様々なかたちでサポートするこの仕事は、当時の活動で学んだ経験がいかせると思いました」

――やりがい――

「努力が目に見えて評価されるのを頑張れば頑張るだけスタッフの信頼につながっていると感じます。安心してスタッフがついてきてく

れています。入社当時は、固定概念を変えることや、様々な考え方の人があるんだ!」という声を聞くと、お客様の生活の一部を支えられることにやりがいを感じます」

「エリア店長として4店舗を担当しております。運営が滞りなくおこなわれているかを確認し、必要であれば売場づくりや接客などのサポートをします。意識しているのは、スタッフ一人ひとりの考え方を理解できるよう積極的にコミュニケーションをとること。そこで得た情報からサポートを心がけています」

「エリア店長として4店舗を担当しております。運営が滞りなくおこなわれているかを確認し、必要であれば売場づくりや接客などのサポートをします。意識しているのは、スタッフ一人ひとりの考え方を理解できるよう積極的にコミュニケーションをとること。そこで得た情報からサポートを心がけています」

「特に資格が必要な仕事ではありません。人の役に立ちたいという気持ちがあれば活躍できる職場だと思います。現在私は、社会保険・労務スタッフの労務管理や社会保険の話などにいかしていきたいです。高校生のみなさんはやりたいことがあれば挑戦してみてください。ありがとうございます」



- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 19歳 | 心理学を学ぶために中部大学に進学。ゼミでは地域支援について学ぶ。 |
| ↓ | |
| 23歳 | 大学卒業後、セリアに就職。店長研修を受けながらマネジメントについて学ぶ。 |
| ↓ | |
| 30歳 | スタッフが信頼してついてきてくれることにやりがいを感じる。 |



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

――学生時代――

――メソセージ――

**お客様 一人ひとりの
ライフスタイルに合わせた提案を。**



なるためには

- 必要資格 / 運転免許(MT)
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→経営やマネジメントについて学ぶ→自動車ディーラーに就職

千田和弥さん (1999年生まれ)

栄徳高校出身
東海学園大学 経営学部卒業

ATグループ(愛知トヨタ)

日進市浅田平子1-100(ツインカム店)
<https://www.at-group.jp/>

――**学生時代**――

「高校時代は野球漬けの3年間でした。上下関係などが身につきましたし、過酷な練習を通してメンタルも鍛えられたと思います。何事にもくらいついていく姿勢、ちょっとの失敗では挫けないメンタルは、社会でも役立っています。高校卒業後は、東海学園大学経営学部に進学しました」

――**大学時代について教えてください。**

「大学でも野球が中心の生活。ただ高校時代とは真逆で、練習メニューも自分たちで考えて部活に取り組みました。いま何をやるべきかを常に考えて行動することで、自主性が身につきました。講義で学んだのは、企業を経営するうえで大切なこと、お金の流れや人のマネジメントについて。卒業後は、営業能力を身につけていたいと思い、ATグループ(愛知トヨタ)に営業職として就職しました」

――**仕事について**

「1年目は、お客様に自分を知つてもらうことから始まります。最初の2ヶ月間は先輩に付いて、接客やお客様との会話、提案や契約の流れなどを学びました。自分で計画を立てて行動することの重要性も学びました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「お客様一人ひとりのライフスタイルに合わせて、新型車種、イベントや点検、保険のご案内をおこないます。高齢の方であればコンパクトカー、結婚してお子さまが生まれた

――**やりがい**

「もちろん自動車が売れたときにやりがいを感じますが、それ以上に『買うなら絶対に千田さんから買つから』千田さんがいなかつたらこの車を買つていなかつたよ」という言葉をいたいたいと感じています」

「なぜ私がこの車をおすすめしているのか、その理由をしっかりと説明できるようにお客様とのコミュニケーションを大切にしています。納車後、乗り心地や時間がある程度、生産状況をお伝えするなど、そのあいだもケアをすることが大切です。納車後、乗り心地を聞いたり点検の案内をしたりと寄り添つたアフターケアを心がけています」

「の言葉に尽きますね。お客様は車を買うタイミングによく悩んでいるので、私たちが提案をして納得したうえで購入していただいたときに、エコ・エコの関係を築いていることを実感します」



18歳 野球部に所属し、何事にもくらいつき、挫けないメンタルを養う。
↓
22歳 東海学園大学に進学し、経営について学ぶ。卒業後、ATグループに就職。
↓
24歳 お客様のライフスタイルに合わせた提案を心がける。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



――**メッセージ**――

「自動車販売の仕事は、計画を立てることが好きな人、TPOをわきまえられる人に向いていると思います。まわりを見て、何を発言すべきか、どう行動すべきかを考えることが大切です。学生時代にグループで何かに取り組み、コミュニケーションを磨いておいてください。高校時代は、ひとつのことについて一生懸命取り組めるのが重要。私にとってそれが野球でした。社会人になった今も、その経験が役立っていることを実感しています」

――**お忙しいところ、ありがとうございます。**

**何かに挑戦する気持ちや
挫折を乗り越える強さを身につける。**



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→、公務員試験対策講座を受講→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→刑事課に配属

高野峻さん(1996年生まれ)

**東邦高校 出身
愛知東邦大学 経営学部卒業**

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸 2-1-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

ー学生時代

「高校時代はサッカー部に所属し、部活漬けの毎日でした。全国大会に出場できたこともうれしかったですし、厳しい監督のもとで人として成長できた3年間だったと思います。卒業後は、サッカーの特待生として愛知東邦大学に進学しました」

大学時代について教えてください。

「大学でもサッカー漬けの日々。大学では、ケガをしたりスタンメン落ちをしたり挫折も経験しました。調子がいいときも悪いときも、その波を乗り越えてきた経験は自身の財産になっています。就職を考えはじめたとき、今までサッカー以外のこと挑戦したことがなかつたことに気づきました。新しく何かに挑戦しようと、先輩の影響もあって警察官をめざしました。公務員試験に向け、一般教養から数的処理まで、過去問題を解きながら試験に出やすい箇所や重要な部分を幅広く対策しました。対策のかいもあり、警察官採用試験に合格。大学卒業後、警察学校に入校しました」

ー仕事について

「警察学校では、法律の知識、柔道、剣道、逮捕術、体力鍛成など、警察官の基礎を学びました。それ以外にも、礼儀作法、制服が乱れていないかなど、警察官として現場に出たときに必要な立ち居振る舞いについても教えてもらいました」

最初に配属された部署は?

「最初は交番勤務を経験し、パート

ーやりがい

「交番勤務をしていたときは、住民からの『ありがとうございます』という言葉がやりがいででした。わざわざ交番に来所されて感謝の言葉を伝えてくださる方もいたのでうれしかったです。刑事の仕事でも、犯人につながる捜査に取り組むこと



ーメッセージ

「警察官をめざすなら公務員試験対策はしたほうが安心だと思います。大学が実施している講座があるのを受講してみてください。あとは、何かに挑戦する気持ちや挫折を乗り越える強さを身につけておくことも大切です。私は部活を通して、うれしい経験も悔しい経験もすることができました。その経験が今に役立っていることを実感しています」

「現在の仕事内容を教えてください。」
「何か事件が起つて犯人が捕まつてないといふその地域で生活しているみなさんは不安ですよね。どこの部署にいたとしても、地域の安全地域のみなさんが安心して生活できる環境を守ることが私たちの仕事です。私は刑事として主に窃盗関係の事件を担当しています。万引きや空き巣などの窃盗事件が起つたら現場に駆けつけ、被害状況を聞き込みから得た情報をもとに犯人を割り出し、逮捕に向けて捜査をしていきます」

ありがとうございました。



18歳

サッカー部に所属し、全国大会に出場。サッカーの特待生で愛知東邦大学に進学。

22歳

新しいことに挑戦しようと思い、警察官を志す。警察官採用試験に合格。

27歳

刑事として勤務。地域住民が安心して生活できるよう、日々の仕事に励む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





脇坂優一さん(1997年生まれ)

名古屋高校 出身
南山大学 外国語学部卒業

日本車輌製造株式会社

名古屋市熱田区三本松町1-1
<https://www.n-sharyo.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→鉄道車両、建設機械などを製造する企業に就職→研修で製造現場を経験→輸機・インフラ本部に配属

適切な価格と最適なタイミングで購入。

—学生時代

「高校時代はバレーボール部に所属して部活に力を入れていました。初心者から始めたので不安もありましたが、必死に努力をしてレギュラーとして最後の大会に出場できただことが思い出に残っています。卒業後は得意だった英語をもっと勉強したいと思い、南山大学外国語学部に進学しました」

大学時代について教えてください。
教授の半数が外国人だったので、半分は英語でおこなわれる授業。慣れない言語で正確に理解できていなくて、発言や意見を求められる場面が多々ありました。そのなかで感じたのは、話せないことよりも、自分の意見を言えないことのほうが評価されないということ。初めてのことに積極的にチャレンジする意識が強まりました。就活の軸にしたのは、県内に本社があること。あとは、携わる仕事がわかりやすくカタチになること。新幹線や輸送用機器など人々の生活を支えるモノを作っているところに魅力を感じ、日本車輌製造に就職しました

現在の仕事を教えてください。
や標記、箱を開け閉めするハンドルなどの部品から任されました」

「弊社は、様々なメーカーから部品を購入し、それを組み上げて輸送用車両を製造するアッセンブリメー



「入社後の研修を終え、輸送用機器の資材部購買グループに配属されました。仕入れ先メーカーは100社ほどあります。設計の段階でこのメーカーのこの部品が必要という指示があるので、様々なメーカーの型式の中から輸送用車両を製造するうえで必要な部品を購入しています。最初は、車両に貼るシール

——仕事について
「私が携わっているのは、ガスを運ぶタンクローリーや大型無人搬送車などの輸送機器です。自分が携わった車両を街で目にしたときにやりがいを感じます。自分が手配した

納期交渉も大切な仕事。でも、たやすく購入すればいいというわけではなく、調達の3原則QCD(品質・価格・納期)をバランスよく購入することが大切です。高品質な部品を適切な価格と最適なタイミングで購入することを心がけています」

——やりがい
「私が携わっているのは、ガスを運ぶタンクローリーや大型無人搬送車などの輸送機器です。自分が携わった車両を街で目にしたときにやりがいを感じます。自分が手配した

納期交渉も大切な仕事。でも、たやすく購入すればいいというわけではなく、調達の3原則QCD(品質・価格・納期)をバランスよく購入することが大切です。高品質な部品を適切な価格と最適なタイミングで購入することを心がけています」

—メッセージ

「私が高校生のときは、世の中にどのような職業があるのかあまり知りませんでした。今すぐやりたいことを定めて進むのもひとつのことです。選択肢が見つかり、将来の決断をするときに選択肢が多いほうがいいですね。可能性を広げるためにも、学生時代に勉強やいろいろな経験を積み重ねていくことが大事だと思います。何事にも積極的にチャレンジしてください！」



18歳

得意だった英語を深く勉強したいと思いつ、南山大学外国語学部に進学。

22歳

積極的にチャレンジする姿勢が身につく。卒業後、日本車輌製造に就職。

26歳

タンクローリなどの大型貨車の製造を通じ、人々の生活を支える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





依田紋佳 さん(1992年生まれ)

金城学院高校 出身
金城学院大学 環境デザイン学科卒業

AAAA design

https://www.instagram.com/yoda_ayaka/



なるためには

●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→家具メーカーに就職→商社(建設資材)に転職→独立し、フリーのグラフィックデザイナーとして働く

**デザインは何においても必要。
人の心を動かすきっかけを作る。**

—学生時代

「自然に囲まれた場所で育ち、自由奔放に過ごしていました。幼いころから何かを作ることが好きで、友達と秘密基地を作ったり、家の中にお化け屋敷を作ったりしていました。親のすすめで中学受験に挑戦し、中高一貫校の金城学院へ。学祭でTシャツなどのグッズを作る時間が楽しかったです。ものづくりがしたいという気持ちがあり、中でも建築物を見ることがや住居に興味がありましたことから、金城学院大学環境デザイン学科に進学しました」

大学時代について教えてください。
「建築の設計や施工、意匠デザインなどを勉強しました。外の世界にも目を向けたほうがいいと思い、「あいちトリエンナーレ」のボランティアで建築部門に関わりました。オープン・アーキテクチャーとして、愛知県内にあるおもしろい建築物や有名な建築物を参考者に紹介しながら『こんな発想はなかつた』と驚かされることが多くなっています。印象に残っているのは、広告やコピーライティングの授業。「言葉やデザインの力で人の心を動かすことができるのではないか」と思って、デザインにも興味を持つようになりました」

—仕事について
「大学卒業後は、家具メーカーの営業職に就きました。担当先のことをすべて任せてもらうことができ、チラシなどを制作することもありました。その後、建設資材の商社に転

—やりがい

「デザイナーは何においても必要。好きな分野に携わることができるのです。それが幸です。ものによっては、ディレクターやカメラマンの方など複数人と一緒にひとつもの

「人の心を動かすきっかけになるものを作っています。依頼者からイメージをヒアリングして、引き出したキーワードをもとにデザインを組み立てます。その後、依頼者と一緒にブラッシュアップして納品するまでが仕事。もちろん依頼者の意向が第一ですが、私のフィルターを通して提案もするように心がけています。デザインするうえで、確かに楽しさがあったほうが多い思う自分がいるから、まわりからはよく「ボップだね」と言われます。主にロゴや名刺、SNS用の画像、広告商業施設の掲示物などを制作しています」

**—メツセージ**

「好きなことをやっているとの間に何かしらつながってきます。年齢、性別問わず様々な人に制作物を見てくれると嬉しいです。フリーランスでやっていくとしたら、礼儀を大切に、そしてメンタルを強くあります」

「ありがとうございました。」「あれ！」

22歳 大学で建築の設計や施工、意匠デザインなどを学ぶ。

23歳 建築に関連がある家具メーカーに就職。営業職を務める。

31歳 フリーのグラフィックデザイナーとして活動中。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



古くから続く「お茶を淹れる」文化を、
どんな形であれ絶やさない。

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→語学留学でイギリスへ→営業職に就く→老舗茶問屋に転職→日本茶ブランドの立ち上げをサポート→独立



伊藤尚哉さん (1991年生まれ)

同朋高校出身
愛知学院大学 総合政策学部卒業

美濃加茂茶舗 / 株式会社茶淹

名古屋市西区那古野2-14-1 なごのキャンパス
<https://mchaho.com/>

— 学生時代 —
「小学生のころからずっと続けてきたこともあり、高校でもサッカー部に入りました。サッカーがうまくなりたくて、ひたすら練習に励む毎日。部活動に励むことで上下関係を学び、先輩の意見を素直に聞けるようになりました。」

大学時代について教えてください。

「高校卒業後は、愛知学院大学総合政策学部に進学しました。印象に残っているのは、大学4年生のときに行つたイギリスへの語学留学。現地で仲良くなつた日本語が流暢な台湾人の男の子から、「ここに行くといいよ」と、いろいろなスポットを教えてもらいました。そのおかげで充実した3週間になりましたし、価値観も広がったと思います。」

— 仕事について —

「大学卒業後、新卒で入つた会社では営業職として働きました。その後、転職を視野に入れはじめ、縁があつた茶葉を卸売りする老舗のお茶問屋で働きはじめました。コーヒーとお茶とでは淹れるときの動作や理的な効能はほぼ一緒だと 思いますが、いろいろなお茶を飲ませてもらつて、知識が豊富になるにつれてお茶にしかない魅力にも気づきました。「もっとお茶を勉強したい」という気持ちが強くなり、「日本茶インストラクター」の資格を取 得しました。」

起業のきっかけは?

「勤めていた問屋が廃業することになってしまったんです。私が継続してい るので、求めてくださる

仕事内容を簡単に教えてください。

「お茶が好きな人をどんどん増やしていくことです。お茶の魅力を多くの人々に伝えることが私の仕事です。最初からあまり難しいことを言わ

ないようになります。お茶の淹れ方はわかっていても、産地による違いがわからない人は特徴を詳しく話したり。その時々に合わせて、お客様への話し方、説明を変えるように

しています。会社としては、小売業と卸業の二軸でやっています。美濃加茂茶舗の運営をメイン業務とするかたわら、オリジナルブレンドづくり、事業者向けのメニュー開発や監修などもしています。」



方が増えれば増えるほど仮説が実証される感覚があつてうれしいです。リピーターの方が何度も茶葉を買ってくださるので、そういうお客様の存在がやりがいにつながっています」

— メッセージ —

「自分と全然違う人生を歩んできた人とつながりやすい時代である一方で、共通の趣味をもつ人たちだけのつながりも強くなりやすいです。そこに執着してしまうと、得られるものに限りがあると思うので、ほかの体験にもお金や時間を使うといふ思います」

ありがとうございました。



18歳

↓

24歳

↓

32歳

サッカー部に所属し、ひたすら練習に励む。上下関係を学ぶ。

老舗茶問屋に転職。日本茶の魅力にハマる。日本茶インストラクターの資格を取得。

日本茶ブランド「美濃加茂茶舗」を運営。茶の小売卸業をおこなう。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



観に来てくれた人にとって
「幸せな時間」になつたらうれしい。

なるためには



- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→事務所に所属→役者、演出家、脚本家として演劇の仕事をする

岩男考哲×RockManさん(1983年生まれ)

愛知工業大学名電高校 出身
洗足学園音楽大学 管楽器コース卒業

岩男組

<https://www.instagram.com/takaakiiwao100/>

——
学生時代
「テレビでピアノ協奏曲を聴いたことをきっかけに、自らすんでピアノを習いはじめました。譜面が読めるようになり、ほかの楽器にも興味をもつようになりました。高校時代は吹奏楽部でファゴットを吹いていました。知名度が低い楽器だからこそ『こういう楽器です』と伝えられる人になりたいなと思つたんです。高校卒業後は、洗足学園音楽大学に進学しました」

演劇に興味をもつたきっかけは?
「ファゴットを演奏するうえで大事なのは、自分だけが楽しいのではなく、相手にいかに聴かせるかを考えることです。そういう音を出すためにはどうしたらしいのか、吹き方の研究に励みました。でもそんななかで、ある日突然、楽器が吹けなくなってしまったんです。楽器の吹き方 자체がわからなくなつて…。途方に暮れていたのですが、その時期に出会つた芸能関係の方からの一言で役者の仕事をやってみようといふ思いが芽生えました。事務所に所属して演技のレッスンを受け、舞台を中心年に4、5本出させてもらえるように。自分の出番がないときも稽古場に足を運んで、見て学んでいました。次の仕事につなげるために大事なことだったと思います」

——
仕事について
「演劇の仕事において、私はいろいろな立場に立っています。舞台に立つて演技をする役者はもちろん、脚本家・演出家の顔もあります。観に来てくれた人にとって『幸せな時間』になつたらうれしい。」

——
やりがい
「自分で書いた脚本が稽古を重ねることで、紙から立体になつて作品として出来上がつてくる。それを演出して出来上がるまでがやりがいを感じます。『舞台の在り方として、このまま見られてもいいような演出を心がけています』



18歳 譜面が読めるからという理由で吹奏楽部に入部。ファゴットを吹く。

25歳 飲み会に同席していた芸能関係の方の一言がきっかけで事務所に所属。

40歳 役者、演出家、脚本家として演劇の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



——
メツセージ
「どの選択肢を選んでも、結果がどうなるかはわかりません。演劇をやりたい人は、いろいろなことに挑戦してみてください。早いうちに事務所を決めることをおすすめします。まずは特技を見つけましょう。今はSNSがあるので自己表現のスキルを上達させるには、ひたすらレッスンと稽古をするしかないですね。まずは特技を見つけましょう。最近思うのは、自分自身も自分で書いています」

